

# 浅間神社だより

(第29-5)

## ～新嘗祭の献穀について～

秋は収穫の季節。自然の恵みを受けて育った作物の収穫に感謝し、勤労を尊ぶ、勤労感謝の日が11月23日に制定されています。全国の主な神社では、この日に新嘗祭の神事が行われています。新嘗祭では、その秋に収穫した新穀を奉納し、感謝のお祈りをいたしております。

私たちの郷土の氏神、延喜式内名神大社河口浅間神社においても、古くからこの神事が行われており、各戸から奉納の献穀を願い、健やかに勤労できたことおよび作物の収穫を感謝する祭りです。

新嘗祭の神事は、春の例大祭や太々神楽祭（おだいだい）、お筒粥、身曾岐祭などと共に古くから行われている河口浅間神社の大切な神事です。

神社では、毎年、自治会長さん、隣組長さんを通じて、各戸から献穀の奉納を願っております。皆様の勤労の状況や生産の状況などに応じ、献穀の奉納を賜りますようお願い申し上げます。

## ～伊勢神宮と神宮大麻～

伊勢神宮は三重県伊勢市に鎮座し、悠久の歴史のもと、日本人の心のふるさととして現在に伝えられています。伊勢神宮は日本の総氏神であり、天照大神を祀る皇大神宮（内宮）と衣食住の神様である豊受大神官（外宮）を中心に12の宮社からなっています。

### 神宮大麻（お神札）

伊勢神宮のお神札を神宮大麻と言い、大麻とは、古くは「おさぬき」と読みました。これは、祈りが込められるお神札の大切な部分を麻串（ぬさぐし）と呼んだことに由来する、歴史のある言葉です。「天照大神大神宮」の神号に神様の印が押された神宮大麻は、清浄を第一に数々の神事を経て、伊勢神宮で奉製され、新年を迎えるにあたり、氏神さまを通し、河口の各家庭に頒布されています。

お神札は神さまを仰ぐ「みしるし」として、家庭の神棚におまつりします。三社づくりの神棚の場合、伊勢神宮の大麻を神棚の中央にまつり、向かって右に氏神さまのお神札、左にその他の崇敬する神社のお神札をまつりします。一社づくりの場合は手前に神宮大麻をまつり、氏神のお神札の順にお札を重ねておまつりします。神棚がない家庭では、目線より高い位置のタンスや本棚を利用し、神をおまつりし、家族の幸せを祈りましょう。一般的に神棚の向きは南向きおよび東向きがよいとされます。

### お供え（神饌）

神棚には酒、米、水、塩などの神饌を供えます。供え方は図-2、図-3を参考にしてください。

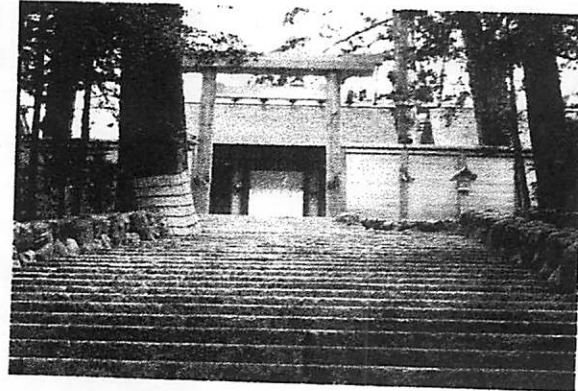


図-1 伊勢神宮 内宮御正宮

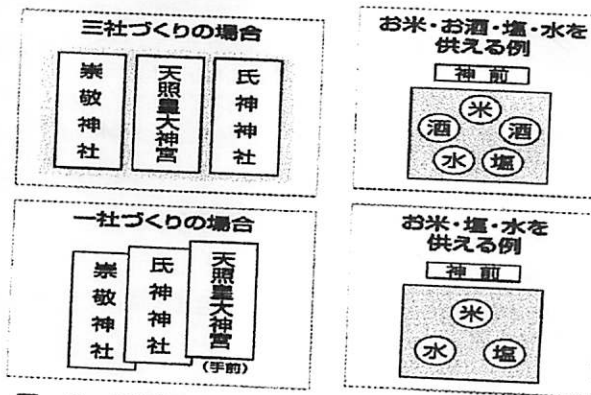


図-2 お神札の供え方

図-3 お供

## ～11月15日は七五三祝い～

わが国では、着帯・安産祈願から、長寿を祝う年祝いまで、人生の節目を大切にし、人生儀礼を祝う行事が行われています。

11月15日は七五三。「髪置（かみおき）」「袴着（はかまぎ）」「帯解き（おびとき）」のお祝いとっていました。髪置きは3歳の男女児が今まで剃っていた髪をこの日から伸ばし始める儀式で、袴着は5歳の男児が初めて袴を着ける儀式、帯解きは7歳の女児が着物の付け紐を取り去り帯に替える儀式です。

なお、本来は数え年でお祝いしますが、最近では満年齢で行う割合も高くなり、また参拝の日取りも11月15日にこだわらず、その前後の都合のよい日に参拝する傾向が強くなってきました。

河口浅間神社では、11月15日（水）に河口保育所藤組の園児の皆さんをお迎えし、七五三の神事を行います。七五三には、子供たちの健康と成長を感謝すると共に、これからの健康と更なる成長を祈願する方々の参拝をお待ちいたしております。

## ～神社の絵馬～

神社の参道を本殿に向かって進み、随神門を通り抜けた左側に神馬舎があり、その脇に絵馬を奉納する絵馬掛け台があります。絵馬は神社や寺院などに祈願する際、または、祈願が叶った時などのお礼参りの折に奉納されています。

絵馬の起源について、奈良時代の史料、『続日本紀』によれば、神の乗り物としての馬、神馬（しんめ、じんめ）を奉納したと記されています。いっぽう、馬を奉納できない者は次第に木や紙、土で作った馬の像で代用するようになり、奈良時代からは板に描いた馬の絵が見られるようになりました。

河口浅間神社においても、江戸時代の画家、狩野法眼邦信筆の「金地黒絵馬」の奉納、また、「金銅製絵馬」一対が時の領主より奉納されています。

現在では、個人の祈願用に五角形（家型）の板製の絵馬が受札所に用意されているのが一般的です。絵馬に願い事を書き、絵馬台に奉納し、大願成就をご祈願下さい。

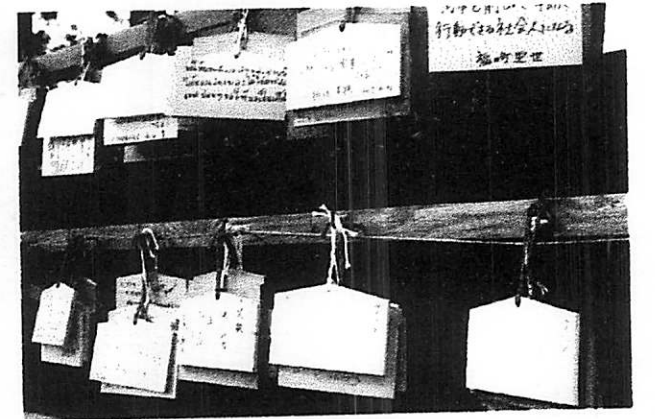


図-4 奉納の絵馬

## ～山梨県神社庁南都留支部および総代会主催の企画～

「国生みの島 伊弉諾神宮・土佐神社参拝と金刀比羅宮・桂浜・鳴門・神戸・四国周遊の旅」が企画されました。企画の概要は以下の通りですが、企画の詳細などは河口浅間神社神職または氏子総代までお問い合わせください。

実施日時：平成30年3月12日（月）～14日（水）2泊3日

主な見どころ：国生みの島（淡路島）伊弉諾神宮、四国土佐一ノ宮土佐神社、明石大橋、鳴門海峡、高知・桂浜、琴平・金刀比羅宮、瀬戸大橋など

会費：¥65,000円

申込金：¥20,000円を12月15日までに河口浅間神社神職または氏子総代に納付してください。